



学校だより

伸びゆく子

令和 7 年 9 月 30 日
横浜市立中沢小学校
10 月 号

おすすめの本は何ですか？

学校長 川又美貴子

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、秋分の日を境にうだるような暑さも落ち着いてきました。少し前に咲き始めた彼岸花から、「もう秋ですよ。」と言われたかのようなタイミングに、季節の移り変わりの面白さを感じています。いよいよ、運動会の練習も始まり、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、本番です。

さて先日、4年生の児童が国語の学習で校長室にインタビューに来ました。

「学校はいつできたんですか？」「好きな給食は何ですか？」「校長先生は普段どんな仕事をしているのですか？」など、ほとんどが毎年のように繰り返される質問でもあり、スムーズに答えることができます。でも、今年の一つ、思わず答えに詰まってしまったものがありました。それは「4年生へのおすすめの本を教えてください。」というものでした。

私の最近のお気に入りには青山美智子さんの作品で、新作が出るのを楽しみにしているほどです。パツと思ひ浮かんですぐに答えようかな、と思ったものの、「待てよ、4年生におすすめするにはちょっと違うな。」と悩み、「4年生って最近はどんな本が好きなのかな。」と考えを巡らせました。授業から離れて早8年。我が子二人が成人したこともあり、子どもの目線から少し離れてしまっている自分に気が付きました。慌てて「私が小学校4、5年生の頃に読んでいた本は何だったかな？」と考え、思い浮かんだのは、「誰も知らない小さな国」シリーズや「ドリトル先生」シリーズです。でも、「今の子どもたちは知らないよな。」とすんなりおすすめできません。他にもいろいろな本が浮かんできたものの結局伝えたのは「4年生におすすめと言われるとちょっと悩んじゃうな、考えさせてね。」でした。

ちなみに、前述のシリーズものを大人になってまた楽しみたいと思って買いなおし、改めて読んだところ、小学生の頃、何度も何度も飽きずに読み返していた時のようなワクワクやドキドキ、お話の世界に入り込んだときのあの熱い思いはよみがえっては来ませんでした。現実の世界でまだ何も知らない、あの頃だからこそ感じられた世界だったのかな、と少し寂しくも感じました。

この夏から、学校では読み放題型電子図書館『Yomokka! (よもっか!)』が導入され、一人一台端末で気軽に読書を楽しめる環境が整備されました。読書は、まだ見ぬ世界や知りえぬ世界、思いもよらない世界との出会いをもたらしてくれます。一方で、それぞれの生きてきた道のりが違えば、同じ本でも違った感じ方になるのだとも思います。

さてさて、秋の夜長に、「あなたのおすすめの本はなんですか？」

